広島県印刷工業組合会報（毎月1日発行）

えんぺい広島

VOL.483
令和8年11月

発　行／広島県印刷工業組合　　発行人／宇都宮　公徳
広島市西区南観音一丁目1番22号　TEL（082）293-0906　FAX（082）293-0954
URL：http://www.hiroshima-pia.jp　E-mail：h.inkumi@estate.ocn.ne.jp



第6回夢メッセ三役会
第1回支部長会及び第3回拡大理事会
2026全日本印刷文化典　沖縄大会
　歓迎挨拶　平山　達也　沖縄県工組理事長
　式辞　　瀬田　章弘　全印工連　会長
　印刷産業発達功労者表彰
　全印工連　産業戦略デザイン室　フォーラム
新役員紹介　　貞森　大介　　理事
　　近藤　伸一郎　理事
備後支部だより
事務局だより

再建進む首里城に未来への希望を重ねて

今号の表紙は、「2026 全日本印刷文化典沖縄大会」参加の折に撮影した再建中の首里城です。11 月 23 日一般公開予定です。

2019 年の火災で正殿を焼失した首里城は、多くの人々の支援と努力により復興への歩みを続けています。今回の復元は、単なる再建ではなく、新たに判明した史料や研究成果を反映し、より史実に近い姿を目指して進められていることが特徴です。

伝統を守りながら新たな知見を取り入れるその姿は、変革の時代を迎える私たち印刷業界にも通じるものがあります。これまで培ってきた技術や信頼を礎に、新たな価値の創造へ挑戦していく。その先に未来への道が開けるのではないでしょうか。

沖縄の青空の下、着実にその姿を取り戻す首里城。その力強い姿に、業界の未来への希望を重ねながら今号の表紙としました。

第６回夢メッセ実行委員会を開催

～　目標達成に向け販売促進策を協議　～

9月30日（水）11時30分より、印刷会館において夢メッセ実行委員会を開催した。当日は実行委員16名が出席し、入場券およびセミナーの申込状況の確認をはじめ、当日の運営要領について協議を行った。

開会にあたり、宇都宮実行委員長は「今回で20回目の開催となる。例年この時期の実行委員会ではチケット販売状況を確認しているが、現時点ではまだ目標数に達していない。目標達成に向け、皆さんと知恵を出し合いながら取組を進めていきたい」と挨拶した。

続いて議事に入り、9月30日現在の入場券販売状況およびセミナー別申込状況について報告を受けた後、目標達成に向けた販売促進策について意見交換を行った。また、開催当日の運営体制や役割分担などについても確認し、来場者に満足いただける展示会運営に向けて準備を進めていくことを確認した。

議題

1. 入場券販売状況（9月30日現在）について
2. セミナー別申込状況（9月30日現在）について
3. 運営要領について

第１回支部長会議及び第３回拡大理事会　開催

～　夢メッセの成功に向け販売促進を再確認　～

9月30日（水）、印刷会館において第1回支部長会議及び第3回拡大理事会を開催した。

支部長会議は13時から行われ、役員・支部長12名が出席した。会議では夢メッセの入場券販売状況を確認し、目標達成に向けて各支部が組合員へのさらなる周知・声掛けを行うことを申し合わせた。あわせて、組合員一人ひとりへの働き掛けを強化し、販売促進に取り組むことを確認した。



続いて13時40分から開催された第3回拡大理事会には役員19名が出席した。開会にあたり、宇都宮理事長は「夢メッセの開催が近づいてきた。本日は午前中に中国印刷機材協議会との実行委員会を、また先ほどは支部長会議を開催し、チケット販売促進に向けた現状確認と意識合わせを行った。開催成功に向け、引き続き皆さまのご協力をお願いしたい」と挨拶をした。

また、「開催20回目を迎える夢メッセを、組合員の皆さまとともに盛り上げていきたい」と呼び掛け、議事に入った。



会議では、入場券販売状況や開催当日の運営要領の確認をはじめ、組合員台帳調査票およびJ-CONNECT運用に伴うメールアドレス報告の提出状況について報告が行われた。このほか、熊本地震義援金の申込状況、訃報連絡に関する取扱規程、組合員の異動などについても情報共有を行った。

議題

1. 入場券販売状況（9月30日現在）
2. 運営要領について
3. 組合員台帳調査票提出状況
4. J-CONNECT運用に伴うアドレス報告状況
5. その他
   - ・熊本地震義援金申込状況
   - ・訃報連絡に関する取扱規程
   - ・組合員の異動について

熊本地震義援金へのご協力ありがとうございました

このたび、令和8年熊本地震で被災された方々を支援するため、広島県印刷工業組合において義援金の募集を行ったところ、組合員24社の皆様より総額305,000円もの温かいご支援をお寄せいただきました。お寄せいただいた義援金は、被災地の復旧・復興支援に役立てていただけるよう、所定の窓口を通じて届けさせていただきました。

被災地では今なお不自由な生活を余儀なくされている方々がおられます。そのような中、多くの組合員の皆様から寄せられた善意と励ましの気持ちは、被災された方々にとって大きな支えになるものと確信しております。

ご協力いただきました24社の皆様に心より感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

2026 全日本印刷文化典 沖縄大会

歓迎挨拶



大会委員長・沖縄県印刷工業組合理事長
平山達也

皆さま、こんにちは。改めまして、沖縄の言葉でご挨拶申し上げます。「はいさい。めんそーれ。ぐすーよー、ちゅううがなびら。」全国からお集まりの皆さま、ようこそ沖縄へお越しくださいました。心より歓迎申し上げます。

私は、2026 全日本印刷文化典沖縄大会 大会委員長、そして沖縄県印刷工業組合理事長の平山達也でございます。全日本印刷文化典は、1973 年に広島で第１回大会が開催されて以来、半世紀にわたり全国各地で受け継がれてきた伝統ある大会です。その歴史ある大会が、このたび初めて沖縄の地で開催される運びとなりました。本州から遠く離れたこの沖縄に、全国 47 都道府県から多くの皆さまにお集まりいただきましたことに、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございます。正直に申し上げますと、沖縄での開催が決まった当初は、「果たしてどれほどの皆さまにお越しいただけるのだろうか」と不安を感じることもございました。

しかし本日、この会場を埋め尽くす皆さまのお顔を拝見し、その不安は大きな喜びへと変わりました。大会開催を信じ、準備に奔走してくれた実行委員会の仲間たちにも、この場を借りて心より感謝申し上げます。

今大会のテーマは、「ゆいまーるの心　文化を刻み　未来を彩る」「蘇る首里城と印刷の未来を沖縄から」です。「ゆいまーる」とは、沖縄の言葉で「互いに助け合い、支え合う心」を意味します。それは、人と人、企業と地域、業界と社会が手を取り合い、新たな価値を共に創り出していく「価値協創」の精神そのものではないでしょうか。情報を伝える手段が大きく変化する今だからこそ、一社だけでは成し得ない価値を、地域の枠や県境を越えて共に生み出していくことが求められています。

鮮やかな彩りを取り戻しながら再建が進む首里城のように、私たち印刷業界も力を合わせ、新たな未来を切り開いていかなければなりません。独自の歴史と文化を紡いできたこの沖縄から、業界の未来へ向けた新たな一歩を、全国の皆さまとともに踏み出したいと考えております。「創る」「伝える」「動かす」。印刷が持つ根源的な力に改めて立ち返り、変化を恐れず、挑戦をためらわず、次の世代へと確かなバトンをつないでまいりましょう。

この沖縄開催という歴史的な節目が、日本の印刷業界にとって新たな希望となることを、私は確信しております。

また、本日この記念式典におきまして表彰を受けられる皆さまに、心よりお祝い申し上げます。長年にわたり印刷業界の発展にご尽力いただいた皆さまのご功績に対し、深い敬意と感謝を表します。皆さまが切り拓いてこられた道の上に、私たちの今日があり、そして未来があります。

結びに、本大会開催にあたりご支援を賜りました全日本印刷工業組合連合会の皆さま、九州地区協議会の皆さま、全国の組合員の皆さま、そして印刷関連業界の皆さまに厚く御礼申し上げます。とりわけ前回大会を開催された広島県印刷工業組合の皆さまには、準備段階から数多くの貴重なご助言と温かいご支援をいただきました。皆さまのお力添えがあったからこそ、本日この日を迎えることができました。改めて心より感謝申し上げます。

以上をもちまして、開催地を代表しての歓迎の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

50年の信頼、これからのクリエイティブ
まだ見ぬ未来をデザインする
AD.AUGUST
有限会社アド・オーガスト

It's a Beautiful Message
ART
https://www.art-g.co.jp/
アート印刷株式会社 〒720-0077 広島県福山市南本庄一丁目10番38号
TEL.084-924-5588㈹ FAX.084-931-9360

式辞

全日本印刷工業組合連合会会長
瀬田章宏



はじめに、このたびの自然災害により被害を受けられた地域の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。被災された組合員の皆さま、関係事業者の皆さまが一日も早く平穏な日常を取り戻されますことを心より願っております。また、全国各地から寄せられている温かい支援の輪に深く感謝申し上げるとともに、引き続き皆さまのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、本日は全国から617名もの皆さまにご参集いただき、「2026全日本印刷文化典沖縄大会」を盛大に開催できますことを、主催者を代表して心より御礼申し上げます。あわせて、本日表彰を受けられる皆さまには、長年にわたる業界発展へのご貢献に対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。誠におめでとうございます。前回大会は広島の地で開催され、そして本年、そのバトンがこの沖縄へと引き継がれました。沖縄県印刷工業組合の皆さまにおかれましては、長期間にわたり大会開催のために多大なるご尽力をいただきました。心より感謝申し上げます。

沖縄県印刷工業組合は、沖縄の本土復帰翌年である1973年に全日本印刷工業組合連合会へ加盟されました。これにより全国47都道府県すべての組織化が実現し、今日の全印工連の礎が築かれました。その沖縄の地で、このたび全日本印刷文化典が開催されることは、私どもにとりまして誠に感慨深く、歴史的な意義を持つものであります。

前回開催地である広島、そして今回の開催地である沖縄。この二つの地には、「平和への強い願い」と「幾多の困難を乗り越えて復興を成し遂げてきた不屈の精神」という共通の歴史があります。私たちはその歴史に深い敬意を表するとともに、平和の尊さを改めて胸に刻まなければなりません。

平和を守ること、地域を発展させること、そして産業を未来へつないでいくこと、そのいずれも決して容易なことではありません。だからこそ私たち経済人は、自らの事業活動を通じて地域社会に貢献し、人々の豊かな暮らしを支えていく責任があります。

印刷産業は、北海道から沖縄まで全国に広がり、行政、教育、医療、観光、製造業をはじめ、あらゆる産業や地域社会と深く関わる存在です。私たちは単に印刷物を作るだけではありません。情報を届け、価値を伝え、人と人をつなぎ、社会を動かす。その重要な役割を担う産業であります。だからこそ、志と誇りを持って産業の価値を高め、日本社会の発展に貢献していかなければなりません。そのためには、組合活動の原点である「連帯」と「助け合い」の精神が不可欠です。共済活動、災害時支援、経営支援、人材育成、業界の地位向上など、単独企業では成し得ない取り組みを実現するために、私たちは組合という力を有しています。

印刷文化典は、その意義を再確認し、絆をさらに深めるための貴重な機会であります。本日各地を代表してお集まりいただいた皆さまには、ぜひこの大会で得られた学びや気づきをそれぞれの地域へ持ち帰り、仲間の皆さまと共有していただきたいと思います。

現在、日本経済は大きな転換期を迎えています。長年続いたデフレ構造からインフレ基調へと変化し、原材料価格の高騰、人件費の上昇、人材不足への対応、さらにはAIをはじめとするデジタル技術の急速な進展など、経営環境は大きく変わりつつあります。こうした変化の中で、私たちもまた経営の在り方を変革していく必要があります。誰も幸せにならない価格競争から脱却し、お客様や社会にとって新たな価値を創造する「価値協創」へと転換していかなければなりません。全印工連では、適正な価格転嫁や知的財産権の適切な取り扱いなど、取引適正化を最重要課題として取り組んでおります。また、CSR、環境対応、DX・AIの活用、人材育成、多様な人材の活躍推進など、組合員企業の成長を支援するさまざまな事業を展開しております。さらに、全国の組合員を結ぶ情報プラットフォームの充実を図り、地域や規模を超えて企業同士が学び合い、支え合い、新たな価値を共創できる環境づくりを進めております。

沖縄には「ゆいまーる」という素晴らしい言葉があります。互いに助け合い、支え合う精神を表すこの言葉は、まさに私たち組合活動の原点そのものであります。先人たちが築き上げてくださった連帯の力を受け継ぎながら、全国の仲間とともに新しい時代の印刷産業を創造してまいりましょう。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました沖縄県印刷工業組合の皆さまをはじめ、関係各位に深く感謝申し上げます。そして、ご参会の皆さまのますますのご健勝とご発展を心より祈念申し上げ、全日本印刷文化典沖縄大会の式辞といたします

印刷産業発達功労者表彰

中本俊之前理事長が受賞

10月16日に開催された「2026全日本印刷文化典沖縄大会」記念式典において、広島県印刷工業組合前理事長で、㈱中本本店代表取締役の中本俊之氏が「印刷産業発達功労者表彰」を受賞された。

同表彰は、長年にわたり印刷産業および組合活動の発展に顕著な功績を残した人に贈られるもので、全国の印刷業界を代表する栄誉ある表彰の一つである。

中本氏は平成28年から全日本印刷工業組合連合会常務理事を務めたほか、中国地区印刷協議会会長、広島県印刷工業組合理事長などの要職を歴任。全国と地域を結ぶ組合活動の推進に力を注ぎ、印刷産業の発展と組織の活性化に大きく貢献されてきた。

また、「Happy Industry 人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」の理念のもと、時代の変化に対応した業界づくりを推進。印刷DXによる生産性向上や高付加価値化、事業領域の拡大、CSRやサステナビリティへの対応、MUD（メディア・ユニバーサルデザイン）、人材育成など、多岐にわたる分野で先導的な役割を果たされた。

さらに、組合員企業が地域社会とともに新たな価値を創出する「価値協創」の考え方を提唱し、その実践を通じて中小印刷産業の新たな可能性を広げるとともに、業界の発展と活性化に寄与してきた功績が高く評価された。

広島県印刷工業組合理事長在任中には、「全日本印刷文化典広島大会」の成功に尽力し、平和都市広島から印刷業界の未来を発信。全国の仲間との連携強化にも大きな足跡を残された。



今回の受賞は、中本氏の長年にわたる組合活動への献身と、印刷産業への深い情熱が結実したものであり、広島県印刷工業組合にとっても大きな喜びとなった。

会場では全国の組合関係者から温かい祝福が寄せられ、その功績をたたえる大きな拍手に包まれた。

SR調達と公民連携で地域の未来を拓く－全国フォーラムで新たな成長戦略を提案－

全印工連産業戦略デザイン室が主催する全国フォーラムが開催され、「SR調達と公民連携でつくる地域のミライ」をテーマに、印刷産業の新たな成長戦略についての提言があった。



江森克治産業戦略デザイン室委員長は、印刷用紙の出荷量が大きく減少している一方で、業界売上の減少幅はそれを下回っていることに触れ、「業態変革によって紙以外の分野で新たな価値を生み出してきた成果が表れ始めている」と説明した。一方で、日本は急速な人口減少と市場縮小に直面しており、今後は従来の事業モデルだけでは成長が難しくなると指摘。その解決策として、行政と民間企業が連携して地域課題の解決に取り組む「公民連携」の可能性に注目し、新たなビジネス機会が広がっていると述べた。

フォーラムでは、産業戦略デザイン室SR部会が発刊した『SR調達と公民連携でつくる地域のミライ』をもとに、「知る」「深める」「広げる」の３つの視点から実践事例を紹介。地域課題を解決しながら新たな価値を創出する取り組みや、自治体との連携によるまちづくりの事例が共有された。

江森委員長は、「企業や行政、地域の垣根を越えて価値を協創する時代が始まっている。印刷産業も地域をつなぐ存在として新たな役割を担うことができる」と語り、参加者に地域社会との関わりを通じた新たな挑戦を呼びかけた。

その後、SR部会の宮﨑真氏と東淑恵氏が、「SR調達と公民連携でつくる地域のミライ」をテーマに講演を行い、人口減少や担い手不足が進む地域社会において、印刷会社が果たすべき新たな役割についての提言があった。

講演では、全印工連がこれまで提唱してきた「価値協創」の考え方を踏まえ、何を売るかではなく、「誰とどのような価値を創るのか」が重要になると指摘。地域課題を行政だけの問題として捉えるのではなく、企業や地域団体と連携しながら解決に取り組む「公民連携」や「地域協創」が、新たな事業機会につながるとの考えを示した。

また、印刷会社には行政や学校、地域団体とのネットワークに加え、情報を整理・編集し、わかりやすく伝える力や人と人をつなぐ力といった「見えない資産」があると強調。こうした強みを地域課題の解決や価値創造に生かすことで、新たな役割や事業領域が広がる可能性があると述べた。

最後に、「地域課題は新たな仕事を生み出す入り口でもある。一社ですべてを担うのではなく、それぞれの企業が持つ強みを持ち寄りながら地域の未来を創っていくことが重要だ」と呼びかけた。SR調達と公民連携を切り口に、印刷会社の新たな可能性を考える機会となった。

【新役員紹介】

常任理事就任にあたっての抱負

広島県印刷工業組合
理　事　貞森　大介
株式会社ユニックス 常務取締役



このたび、広島県印刷工業組合の理事を拝命いたしました株式会社ユニックスの貞森です。歴史と伝統ある組合の運営に携わる機会をいただき、身の引き締まる思いでおります。

私は理事の中では若手の立場となります。経験も知識も、諸先輩方には遠く及びません。しかし、若手だからこそ持てる視点や行動力、変化を恐れず新しいことに挑戦する姿勢を生かし、組合活動に貢献してまいりたいと考えております。諸先輩方が長年にわたり築いてこられた信頼やつながりを大切にしながら、次の世代へと受け継ぎ、さらに発展させていくことが、私に求められている役割の一つであると受け止めています。

印刷業界を取り巻く環境は、大きく変化しています。人口減少やデジタル化の進展、原材料費やエネルギーコストの上昇、人材不足など、私たちは多くの課題に直面しています。一方で、印刷会社が培ってきた企画力、表現力、製造力、情報加工力、地域とのネットワークは、これからの社会においても大きな価値を持つものだと確信しています。印刷物を製造するだけでなく、お客様の課題を発見し、情報を分かりやすく伝え、商品やサービスの魅力を高めることも、私たちの重要な役割です。

特に地域に根差す印刷会社は、地域企業や自治体、学校、各種団体と密接な関係を築いてきました。地域の歴史や文化、産業、観光資源を発信し、人と人、企業と企業、地域と社会をつなぐ存在でもあります。地域が元気になれば、印刷業界にも新たな仕事や可能性が生まれます。そして、印刷業界が持つ力を地域のために活用することで、広島の発展にも貢献できると考えています。

組合活動においては、会員企業同士が学び合い、支え合い、連携できる環境づくりが重要です。経営課題や人材育成、技術継承、価格転嫁、デジタル対応、新事業開発など、一社だけでは解決が難しい問題も、組合という場を通じて知恵や事例を共有することで、前進することができます。規模や得意分野の異なる企業が、それぞれの強みを持ち寄り、新たな連携や事業の可能性を生み出していくことにも取り組んでいきたいと思います。

また、若手経営者や若手社員が業界の未来に希望を持ち、積極的に参加できる組合にしていくことも大切です。これからの印刷業界を担う世代が、会社や地域の枠を越えて交流し、学び、挑戦できる機会を増やしていきたいと考えています。若い世代の意見を組合活動に届けると同時に、諸先輩方が培ってこられた経験や知恵を次世代へつなぐ橋渡し役を務めてまいります。

理事として、まだまだ学ばなければならないことは多くあります。まずは現場の課題を理解し、自ら考え、自ら行動することを大切にいたします。立場や世代の違いを越えて対話を重ね、組合員の皆様にとって価値のある活動とは何かを常に考えてまいります。

微力ではございますが、印刷業界の活性化と広島の地域発展のため、情熱と責任感を持って職務に取り組む所存です。皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りながら、組合のさらなる発展に尽力してまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ROBOCUT SYSTEM
コンピューターカッターを中心とする
給排紙省力化システム
イトーテック株式会社
大阪支店
〒577-0022 東大阪市荒本新町3-29
TEL〈06〉6618-5335　FAX〈06〉6618-5337

断裁機と
オートカッティングシステム
株式会社 勝田製作所
本　社　〒536-0014 大阪市城東区鴫野西3-3-43
TEL06-6961-3945
勝田機械販売㈱　〒135-0041 東京都江東区冬木21-4(冬木ビル4F)　☎03-5245-1555
福岡営業所　〒811-1255 福岡県那珂川市恵子1-17-402　☎092-952-7111
四国営業所　〒760-0080 高松市木太町1679番地　☎087-861-7773

【新役員紹介】

「ご縁」



広島県印刷工業組合
理　事　近藤　伸一郎
アート印刷株式会社　専務取締役

今年度より広島県印刷工業組合の理事を拝命いたしました、アート印刷株式会社の近藤でございます。 今年の備後印刷産業新年互礼会でも少しお話ししましたが、改めて簡単に自己紹介をさせていただきます。

私はアート印刷に入社して、本年１月でちょうど20年となりました。思い返せば、まさに不思議なご縁に導かれ、この印刷業界でお世話になることになりました。

高校時代から決して真面目とは言えず、大学でもやりたいことが見つからないまま惰性で過ごし、気がつけば５年生になっておりました。本来であれば５年生前期で卒業できたにもかかわらず、授業にも出ず単位も取らず…。そんな折、５年生の夏休みの集中講義で偶然出会った先生が、弊社が大変お世話になっている方で、その日のうちに弊社の細川へ連絡をしてくださいました。

そこから、どのような会社なのか、何をするのかも分からないまま面接を受け、内定をいただきました。正直、入社するまで仕事内容を理解していなかったほどで、今思えば本当にいい加減な人間だったと恥ずかしく思います。

もし４年生で卒業していたら、あるいは５年生前期で卒業していたら、私は今この原稿を書くことはなかったでしょう。卒業しなかったおかげで今があります。両親には苦労をかけましたが、今ではこの道を選んで本当に良かったと感じています。

成人年齢は18歳になりましたが、私は「二十歳」と同じ年月をこの業界で過ごし、多くの方々とご縁をいただきました。印刷会社、紙屋さん、資材屋さんなど、よくお会いする方も、なかなかお会いできない方もいらっしゃいますが、印刷業界にいなければ出会うことのなかった皆さまとのご縁に支えられ、今日まで歩んでくることができました。

現在、印刷業界は厳しい状況にあると言われます。確かにその通りだと思います。しかし私は、かつて「良かった時代」を知りません。だからこそ、これからその良い時代をつくり、経験したいと考えています。どうすればその時代が訪れるのか、明確な答えはまだ持ち合わせていませんが、組合には多くの仲間がいます。そこに必ずヒントがあると信じています。組合はさまざまな気づきを与えてくれます。そのヒントを自分のものにできれば、きっと新しい景色が見えてくるはずです。

最後になりましたが、不真面目な大学生活を５年も続けていた私を拾ってくれた印刷業界には、感謝してもしきれません。入社当時と同じく、何も分からないまま理事を拝命いたしましたが、この業界に少しでも恩返しができるよう、微力ながら努めてまいります。
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

UCHIDA TECHNO
オートフィード
プラテンダイカッター
AeroDieCut

デジタル技術で
従来の木型を
活用します。
株式会社 ウチダテクノ
〒540-8520 大阪市中央区和泉町 2-2-2　☎06(6920)2460
〒812-0008 福岡市博多区東光 2-10-11　☎092(476)5011
ホームページアドレス www.utecs.co.jp

Horizon
www.horizon.co.jp
使いやすく進化した無線綴じ製本機

無線綴じ機　iCE BINDER BQ-300

【備後支部だより】

今年も福山市社会福祉協議会さんへお届けした「メモ帳」

「印刷の月」の PR 活動の一環として毎年お届けしているメモ帳。今年もご縁のある福山市社会福祉協議会さんへお届けしたところ、大変喜んでいただきました。

お話によると、9 月下旬から 10 月上旬にかけて市内各エリアで開催される福祉まつりでも配布してくださるとのこと。また、市社協の常務理事の皆さんからは、「これ、便利なんですよね。ちょうど胸ポケットにも入るサイズですし、それに最近はこうした白紙のメモ用紙そのものが少なくなりましたからね」という声もいただき、日頃から便利に活用してくださっている様子が伺えました。

デジタルでのやり取りが主流となった今でも、とっさのメモや伝言、情報共有の場面では、紙のメモが持つ使いやすさや確実さが改めて見直されています。紙のメモは、声を発することはなくても、必要な情報を確かに伝えることができるコミュニケーションツールです。



ペーパーレス化が進む時代だからこそ、「紙」や「印刷」が果たす役割や価値を再認識する機会となりました。お話を伺いながら、紙と印刷の持つ力は、これからもさまざまな場面で生かされていくのだろうと感じました。

事務局だより

◎ 組合のうごき

10月	14日	常任委員会④	沖　縄
	16日	全日本印刷文化典沖縄大会	沖　縄
	17日	全印工連事務局研修	沖　縄
		全青協各県青年会代表者会議	
		全印工連フォーラム	
	30日	夢メッセ(1日目)	広島ガーデンパレス
	31日	夢メッセ(2日目)	
11月	13日	事務局研修	島　根
	19日	常任委員会⑤	東　京
	28日	印刷関連業界親睦ゴルフ	呉CC

第 20 回 2026 印刷産業夢メッセ、盛大に開催！

10 月 30 日･31 日の両日開催いたしました「第 20 回 2026 印刷産業夢メッセ」は、多くの皆様のご参加とご協力をいただき、盛況のうちに終了することができました。

会場では、最新の技術や製品、サービスとの出会いはもちろん、業界の未来を考える交流の場としても大変有意義な機会となりました。ご来場いただいた皆様、ご出展・ご協力いただいた企業・団体の皆様、そして開催を支えてくださった関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

皆様からいただいたご支援とご期待を力に変え、広島県印刷工業組合はこれからも業界の発展と新たな価値協創に取り組んでまいります。

ご参加、ご協力いただきましたすべての皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

（詳細記事は次号にて紹介）



洋紙・板紙・段ボールケース

大三紙業株式会社

〒729-0141 尾道市高須町5545番地
TEL (0848) 46-2335・FAX (0848) 46-4641
E-mail:daisan@iris.ocn.ne.jp